



『筒百合』 中村修三 画

<p>二〇〇一年の年頭に</p> <p>小野喜三郎さんに聞く —山宣との出会い・愚談会のこと—</p> <p>京都・府市民団体協議会 一十五年の歴史(一)</p> <p>田中 弘</p> <p>編集委員会</p>	<p>二〇〇一年 年頭のあいさつ</p> <p>追悼 清水裕・瀬尾尚憲氏 川戸 利一</p> <p>文政の一揆と丹後の民衆(四) —江戸期の丹後ちりめん史を背景にして—</p> <p>田中 弘</p>	<p>二〇〇一年 会員から 高野源治・河合葉子</p> <p>小田切明徳</p>
--	--	--

編集後記

二〇〇一年の年頭に

編集委員会

二〇世紀は戦争の世紀でした。二一世紀こそ平和の世紀としなければならないとの決意でむかえた二〇〇一年は、予想もしなかつたアフガン戦争と自衛艦のアラビア海派遣という結末になりました。国内では底の知れない不況の進展する中で、「構造改革」のよび声の下に倒産がつづき、記録的な失業増加がつたえられています。このような事態を開拓するために、国民の努力と英知の結集が今こそ求められているといわねばなりません。

われわれの会は、小さいながらも京都の民主運動史を語ることで、そのような英知の一端をになうことを目指しています。今年は京都府知事選挙の年にあたります。歴史的経験に学ぶことが現在の府民に力と確信をもたらす結果となるように、われわれ一同も努力したいと思います。皆さまの御健康を念じつつ、御支援をねがつてやみません。

(岩井忠熊)

小野喜三郎さんに聞く

—山宣との出会い・愚談会のこと—

聞き手……小田切 明徳

小野さんは京大で動物生理学の研究を永年にわたって続けられ、その後、京都府立医大でも研究と教育に従事されました。定年後は龍谷大学に籍を置かれました。研究教育だけでなく、職場や地域の民主化のための組合運動や平和と

生活向上のために行動されました。小野さんは比叡山での探鳥会から参加したが、日本の探鳥会のはじりです。それ以前から私は兄と貴会、科学者会議の結成のために尽力されました。大学を辞めたあとは「子どもを守る会」の役員だけ

あり、驚かれたそうです。帰国後に、早速探鳥会を始められ、私は教授になるために留学されたのです。米国のシエルフォードの実習に参加したら探鳥会（バード・ウォッチング）や「鳴き声の研究」があり、驚かれたそうです。帰国

川村先生は淡水生物学の勉強で欧米に留学しましたが、ドイツに行くと湖には必ず研究所が付属している。琵琶湖はないので、それではと大津に臨湖実験所を作られた。ここに山本宣治が通ったのです。京大の教室のできかたは植物学、動物学と別れ出発した。動物学では、形態学が駒井教授、生物学に川村助教授でした。川村先

生は教授になるために留学されたのです。米国のシエルフォードの実習に参加したら探鳥会（バード・ウォッチング）や「鳴き声の研究」があり、驚かれたそうです。帰国後には、山宣さんは初めてイモリの研究をやっていたが、両生類の染色体の数はあるの当時の研究水準では結論が出ない難しさがあった。まあ、あちこちでイモリを探して研究を続けておられました。その頃、山宣さんは宇治から大津までの電車通勤の間にドイツの生理学者ニコ

した。ご高齢に関わらず、一昨年まではメーデーの行進にも、スニーカーで北コースを歩かれました。 *** 小野さんは、日本の生態学研究の先駆けであつた川村多実二さんの研究室に属されたそうですが、

川村先生は淡水生物学の勉強で欧米に留学しましたが、ドイツに行くと湖には必ず研究所が付属している。琵琶湖はないので、それではと大津に臨湖実験所を作られた。ここに山本宣治が通ったのです。京大の教室のできかたは植物学、動物学と別れ出発した。動物学では、形態学が駒井教授、生物学に川村助教授でした。川村先生は教授になるために留学されたのです。米国のシエルフォードの実習に参加したら探鳥会（バード・ウォッチング）や「鳴き声の研究」があり、驚かれたそうです。帰国後には、山宣さんは初めてイモリの研究をやっていたが、両生類の染色体の数はあるの当時の研究水準では結論が出ない難しさがあった。まあ、あちこちでイモリを探して研究を続けておられました。その頃、山宣さんは宇治から大津までの電車通勤の間にドイツの生理学者ニコ

原燎

ライの「戦争の生物学」の翻訳をしていた。これは上巻が、一九二二年春、内外出版から出された反戦の書です。

時代の山宣の工夫でした。）

さて、「性学読書会」に、誘われて私も参加したが、山宣さんは語学が強く、洋書を片手に原文をばらばらめくり文献の紹介をして

くれました。イヌの精巣形成の話とか……。性教育で言つておきたのは、H.W.Long "Sane Sex Life and Sane Sex Living." の山宣さんの翻訳本です（印刷・出版は野田律太）。一九二五年八月に出した奥付のない本で、確かにこれは正垣清（助手）さんを通じて頂いた。私の近くに新婚者がいると必ずこれを貸してあげた。（小田切註；この書を私は頂きました。

性表記は出版法対策のために表紙とカバーとも英語表記、奥付なしです。秘密で出したのでしよう。

（交）も伏字なしですから発禁ものです。他方、この三月に私は岩井忠熊先生から、これまた奥付のない本を頂きました。たぶん表紙も題字がなかつたのでしょう。後で墨字で「戦争進化の生物学的批判」と書いたのが張られています。岩井先生は偶然、古本屋で見つけられたそうです。性も政もタブーの

戦争が進行して重苦しい雰囲気があり、日本動物学会ではとても

できない話し合いがここではでき
た。山内年彦を取り巻く酒飲みグル
ープがあつた。そこに山田忠男
朝山新一らが加わって好き勝手な
ことをその場限りの話としてやつ
ていて愚談会とか、文化交流会と
かの名称を付けていた。やがてこ
うした仲間から民科に集まる人が
できたのです。山宣の影響での庶

民のための研究を進めようとした高橋松蔵、小野らがよく集まつて議論していた。ここに戦後、代議士になつた宇都宮徳馬も顔を出していた。

ミノファーゲンを作った経緯は
大切だと思うから話しておきます
当時、子どもが懼るジフテリアの

薬は馬の血清から作っていたが、戦争で馬が兵役で徴用されるようになって薬が足りなくなつて、その頃たまたま広島から来ていた薬局の人人が民間療法で使う薬草・カンゾウの根がよくきくといつた

そこで、高橋が成分を取り出して試したところジフテリアでの解毒作用が確認された。薬の開発となり、名前は蓑内助教授の苗字をかり、資金は親がお金持ちであった宇都宮徳馬に相談して、これを壱り出した。この製品は子どもの病気によく効いたので儲かつたらし

* * * 有難うございました。他日、

民科や科学者会議が作られた頃のこと、京都理科サークルでお聞きしていた今西錦司論などお開きしたいと思いますので宜しくお願ひいたします。

(おの　きさぶろう
聞き手　おたぎり　あきのり)

* * * 有難うございました。他日、民科や科学者会議が作られた頃のこと、京都理工科サークルでお聞きしていた今西錦司論などお聞きしたいと思いますので宜しくお願いいたします。

一に影響され、性腺の発生やホルモンの研究を続けた。戦後には大坂市大の先生になりましたが、学生の性調査の追跡をやつた。あとで彼は日本性教育協会を立ち上げた。こういう人たちが集まってきたので、自由に研究する雰囲気があつたのがよかつた。

京都・府市民団体協議会

二十五年の歴史（一）

田中
弘

京都・府市民団体協議会（以下「府市民団体」）は一九六六年（昭和四十一）二月二十三日に誕生し、一九九〇年十一月一日に活動を休止した。

止した。その二十五年の歴史は、府市民団体自身が発行した『10年の歩み』と『25年の歩み』にくわしくまとめられている。

一九六五年（昭和四十）春以来、高山義三京都市長は翌年春の市長選挙には出馬しないと表明していた。民主勢力が京都市長を奪還する好機到来である。しかし、一九六六年（昭和四十二）二月の京都市長選挙の結果は民主勢力の惨敗に終わった。民主陣営からは社会党の岡本清一氏（同志社大学教授）と共産党の安井真造氏（共産党府副委員長）の二人が立つたが、二人の得票を合わせても自民党の井上清一氏（元京都府副知事）の得票にも及ばなかつた。

選挙結果 二月一日

井上清一 二三万二、九二四票

岡本清一 一二万一、二六五票

安井真造 八万三、四三五票

一九六六年（昭和四十二）四月には鰐川虎三京都府知事の五選めの知事選挙がせまつて、このままじつとしておれば、分裂選挙の二の舞になりかねない」、こんな危機感が民主勢力の間で日を追つて強まるなか、民間の団体を結集して「民間総評」をつくろう、との声が起つていつた。

京都府保険医協会が中心になって、これまで能動的に選挙に参加する場を与えられていなかつた、政党や労働組合以外の府民団体、市民団体を大きく結集して、分裂

選挙回避の力にすることが熱心に話し合われた。話し合いの参加者は、中野信夫、新井多聞、和田孝英、小井実、秋田清二郎、小林義治、松尾茂男、近藤良男の八人であつた。

一九六六年（昭和四十二）二月二十三日、第一回府市民団体連絡懇談会が教育文化センターで開催された。懇談会には予想を越えて、六十五団体から九十六名の参加があつた。京都・府市民団体協議会の誕生である。

初代役員をみれば、この団体がどれほど府民的な広がりを持つていたかが分かる。

会長＝富井清（医療）、副会長＝北川正夫（医療）、磯部志津（婦人）、堀宣一（中企）、山鹿精華（芸術）、住谷悦治（学者）、大谷瑩潤（宗教）、佐古靖（自治）、事務局長＝中野信夫（医療）、事務局次長＝近藤良男（中企）

誕生したばかりの府市民団体の最大の課題は、鰐川虎三京都府知事の五選に勝利することであつた。

選挙は統一選挙母体「民主府政協議会」で闘うことになり、この目標は見事に達成された。しかし、過去三回の選挙ではいつも十万票以上の大差で勝利してきた鰐川知事が、五選では相手候補の浜田正

氏（府農林部長）と五万とは開かなかつた。

選挙結果 四月十二日

鰐川虎三 四〇万九、九一六票

浜田 正 三六万二、九七三票

「府市民団体をつくつておいてよかつた」というのが関係者のいつわらぬ実感であつた。知事選勝利直後の五月に開かれた第四回府市民団体連絡懇談会では自他共にあつた。京都・府市民団体協議会の誕生である。

府市民団体の存在価値を認め、「連絡懇談会」を恒常的な組織として「協議会」に発展させることが全会一致決議され、会の名称も京都府市民団体協議会に改められた。

同時に、会員登録と会費納入義務を明確にし、定期機関紙の発行を決めていた。この時確認された知事選のまとめの中に、後に話題になる「ニカワ」論が出ていた。「知事選挙のまとめ」＝へよかつた点▽①統一の一翼をない、ニカワの役を果たした。②統一の必要性と重要性を身をもつて学んだ。③府市民が自分で闘える自信をもつた。

その一方で、府市民団体は京都の三谷直之氏、京都府医師連盟の山内貞信氏といった舞台まわしをする実力者の会を何回も持つた。こうして府市民団体は、適切な統一候補さえ擁立できれば今回は統一選挙に成功できる、という確信をますます深めていた。

一月十八日に開かれた府市民団体の第五回全体会議は、府市民団体の富井清会長が統一市長候補として最もふさわしいと思う、との見解を公式に確認している。

京都市長選挙は、「全京都市民会議」（社・共）が推す富井清氏と「反共市民同盟」（後に、反日共市民同盟、自・民）が推す八杉

府市民団体の対応は早かつた。一月十一日には、緊急幹事会を開き、京都市長選挙対策を決めていた。前年の京都市長選挙で味わつた統一失敗の苦い経験を今度は繰り返してはならない。これが誰の頭の中にもあつた。翌日、京都・府市民団体協議会幹事長中野信夫名で、統一選挙についての要請書を、京都府知事、社会党、共産党、民社党、民主革新会議、京都総評、京都同盟、市労連、市職労、自治労、中小企業団体中央会の十一者に送つている。

府市民団体の対応は早かつた。

正文氏（京都市交通局長）の一騎討ちとなつた。開票の結果は、二万票差による富井候補の勝利であった。十七年ぶりに民主市長を奪還した快挙であつた。富井候補が獲得した二五万三、二〇〇票は、京都の民主勢力が過去の市長選挙で獲得した最高のものであつた。

選挙結果 二月十六日

富井 清 二五万三、二〇〇票
八杉正文 二三万二、二九八票

富井市長の誕生に続くよう、琉球政府主席と全国各地に革新統一首長が誕生していった。三月には専従事務局体制が確立された。

一九七〇年（昭和四十五）四月に行われた京都府知事選挙は、これまでの選挙戦を一変させる史上最大の歴史的な選挙となつた。社会党は蜷川推薦を決定していた。共産党も「民主府政の擁護」をかけて社会党に統一選挙を申し入れていた。府職労やその他の労組でも統一選挙の方針を決めていたが、問題はこれらの政党や団体の力を大きくまとめて統一した力にする話し合いがまだ開始されていないことだった。

府市民団体は一九六九年十二月

十二日に第十回全体会議を開き、

知事選勝利の方針を決めている。

方針の主な内容は、①蜷川虎三現知事の推薦、②社・共を中心とした統一選挙体制の確立、である。府市民団体はこの方針にもとづいて統一選挙体制の確立のために全力をあげることになった。

一九七〇年一月十六日に公明党は、柴田護氏（自治省事務次官）を知事候補として推薦すると発表した。この発表は民主勢力に衝撃を与えた。一向に進まなかつた統一選挙体制の話はこれを契機に急速に進みまとまつた。一月三十一日には明るい民主府政をすすめる会が発足した。後に「明るい会」

方式といわれる最もすんだ選挙体制のもとで、陣営は燃えに燃えで闘つた。

選挙の結果は、自・公・民三党連合の柴田護候補に対して、一五四、九〇〇票も引き離す蜷川知事の圧勝であつた。

選挙結果 四月十二日

蜷川虎三 六三万六、〇六八票
柴田 護 四九万一、一六八票

七〇年知事選挙の特徴の一つは、

シンボルマーク作戦が取り入れられ、宣伝戦全体に大きな影響を与えたことである。このシンボルマーク作戦の牽引役は府市民団体で

あつた。

朝日新聞新年号は、一〇〇人の

著名人が選んだ七〇年代を象徴する「色」を特集していた。その色がダイヤイ色であった。この記事を選挙につかえないと小井実氏にもちかけたのは天津正氏である。小井氏の反応は早かつた。答は「これはいける」であつた。こうしてオレンジ色のシンボルマークは生

まれた。

元京都府市民団体協議会事務局長

この選挙以来、選挙の度に各種

の選挙資材をつくつて普及することも府市民団体のユニークな活動の一つになつた。

（たなか ひろむ

文政の一揆と丹後の民衆（四）

—江戸期の丹後ちりめん史を背景にして—

川戸 利一

与謝郡野田川町と中郡大宮町の

郡境に平治峠がある。登りつめた頂上に常林寺があり境内に府下最大といわれる高さ五・三mの石像

が立つてゐる。

この石像は「あざ取り地蔵」「こも着せ地蔵」とよばれ、夜道を通る村人をキツネや狸、盗賊から守るために建立されたと伝えられてきた。

一方、与謝郡誌に「義民新兵衛同為次郎達を追悼するため造つた」と記述している話も語り継がれてゐる。しかしこれらの話を裏づ

ける証拠はなかつた。

平成十年（一九九八）、石像は文政一揆に一命をささげて、六万人の領民を救つた吉田新兵衛と為

次郎たちの成仏を祈願して造られたいきさつが初めて明らかにされ、大きな反響を呼ぶことになつた。

明らかになつたのは常林寺に秘蔵されている石像に関する古文書の記録からである。古文書は一揆や新兵衛たちのこと何一つ触れていないので一揆と関係ない文書と思われてきた。

郷土史家安田正明夫妻は、常林

寺から借り受けた古文書を、与謝郡誌の記述を手掛かりにして入念に読み解き、初めて明らかにできた発見であった。

古文書に「丈六大地蔵菩薩造立化帳」がある。一丈六尺の石像を平治峠の頂きに造立するために寄進を求めた趣意書である。天保三年（一八三二）十月二十四日の日付があるため、新兵衛と為次郎が処刑されてから八年後に作られたものである。石像造立の目的は先祖何十靈菩提の供養のためとして、眞の目的を隠し藩から追及があつたとき、逃れる道を用意した趣意書となっている。

寄進を始めて六ヶ月後の天保四年（一八三三）三月二十四日の日付で收支決算書「平智峯大願王地蔵造立結縁算簿」が残されている。決算書による收支の集計は入銀メ高四貫三八四匁一分四厘と記録されている。小判に換算すると七百三十両に相当する。

安田正明夫妻は、喜捨名簿である大願地蔵造立化帳を町別に集計して先祖一〇四六七七靈の供養に七五四〇八人の寄進のあつたことを初めて明らかにした。先祖の供養は露見を避けるための方便であるため、眞の目的である新兵衛たちの供養のためわずか半年で七万

千五百七十三人を除いた五万二千六百四十三人であつたため、宮津藩内で寄進をおこなった五万六千人の内訳を考えると、子供や常病人からも数千人の寄進があつたことがわかる。

この時期にこれ程の数の領民が寄進に応じていることから、この供養は一揆の犠牲者のためにおこなわれたとする以外に考えようがない。

安田夫妻は金銭以外に、善の綱編んだ頭巾とコモを石像に着せ統けている。

玉眼・白豪・塔婆木・幡・唐紙・挑燈・大日傘などの寄進があつたとまとめている。

多額の寄進をうけて、鱒留村の石工松助が上常吉の安田の谷から出た大石に大願地蔵菩薩を刻み、常吉で育ち奥山に婿入りした新兵衛の故郷の常林寺に石像を建立した。

その後も寄進が続き、十六年後、新兵衛と為次郎が生前住んでいた石川村の神宮寺に地蔵菩薩坐像が建立された。

大々的な地蔵菩薩像の建立に代

官所の寺役人から二度にわたって、検分と御改めを受けている。その都度先祖の供養と峠の安全を理由に追及を逃れた。丹後の民衆は二つの伝承を使いわざることで地蔵菩薩像を守り抜いてきたのである。

地蔵菩薩像の寄進を募るために中心になつて呼びかけた常林寺の勝音和尚と丹後一円の村々で呼びかけに応えた僧侶、僧侶と協力して建立を成功させた民衆、お上に露見することをさけて地蔵菩薩を守りぬいてきた民衆の知恵と力は驚くべきもので刮目に値する。

今でも冬になると「新兵衛寒かるうな」と言って、新しいワラで編んだ頭巾とコモを石像に着せ統けている。

丹後ちりめんはこうした苦難の歴史を歩みながら、地場産業として発展してきたのである。

峰山藩は、宮津藩の申し出を一年試す立場で丹後国産用場を認めていたため、機屋の反発はもつともなこととして、宮津藩との約束を破談にした。

丹後国産用場は、宮津藩の利益を最優先させた運営であつたため、業界の協力を失い自然消滅の道をたどつた。

幕末の黒船騒動で幕府は全国の大名に沿岸警備を求めた。宮津藩

問屋の不当な値引きや買い叩き、無理難題を避けて丹後ちりめんの

利益を守るため、三領合同の「丹後国産用場」を置くことを峰山藩

と天領地の久美浜に働きかけ、安政四年（一八五七）宮津藩が京都に置いている宮津用場をとりあげ丹後国産用場とすることに漕ぎつけた。

三領で織られたちりめんは、国方で反数を改めて丹後国産用場に送られ、機屋と問屋との直接取引はなくなつた。

宮津藩は送られてきたちりめんを問屋に売り渡し、機屋から取り扱い料（改印料）を取り立てる一方で、問屋からも一反について五厘の御用金を求めるため、双方から反発をかい、問屋のなかには丹後国産用を無視するところも現れた。

は御台場を築營し、各寺院に釣鐘を獻納させて大砲を鑄造し、砲台に据え付けた。網野の八丁浜では火繩銃の射撃訓練が行われ、緊急時に八丁浜の警備を早馬で近隣諸藩に知らせるために馬五十頭を買入れて領内に配備した。田辺藩では沿岸の百姓に総背番号をつけ足軽として召し抱え、沿岸防備に備えた。安政五年（一八五八）網野の八丁浜沖に異国船が現れて村人を驚かせ、幕府役人の検分も行われた。世情はかつてない気配をみせてきた。

宮津藩は、鳥羽・伏見の戦いで幕府方について官軍と戦い、戦いに敗れて大阪城に敗走中の一月八日、幕府勢を追つてきた薩長勢に八幡で応戦した。この応戦は幕府方の嚴命によるものであつたが、宮津藩が政府軍に発砲して戦つた事実が朝廷に伝わった。朝廷は宮津藩を朝敵として藩主の都入りを禁止する措置をとり、山陰道に派遣した西園寺総督にも朝廷の意向が伝えられた。

宮津藩は飛脚によつて官軍と応戦した事実を知つたが、この事件は予期せぬ出来事であつた。宮津藩は福知山に到着した西園寺総督に事の子細を言上するため二名の家老を勅使本陣に遣わしたがお目通りすら許されなかつた。家老は直ちに藩にかえり善後策を練つた勅使一行を迎えるにあたつて、領内に諸事謹慎の布令を出し、藩を挙げて恭順の意を表して総督を待ち受ける体制を整えた。八幡の防衛で発砲事件を起こした宮津藩の責任者二人を禁固の処分とした上で、宮津藩の真意をしたためた嘆願書を福知山藩を通して総督に提

福知山藩の介添えで、嘆願書は総督の手に渡り、一月二十一日勅使の宮津入りが決まった。勅使一行は、御本營三十二人、郷士六十二人、薩長の守衛隊二百二十五人の外、御供として柏原藩八十一人、園部藩六十人、篠山藩六十四人、福知山藩百人、田辺藩五十四人に加え、御迎えのために参上した峰山藩三十八人、出石藩四十八人、豊岡藩二十三人で合計約八百人を数え、先着の供侍約二百人を加えると総勢千人に上り、城下は大混雑となつた。これだけの人数が宮津入りしたのは、不測の事態に備えての陣立てであつた。

勅使一行は、二十六日峰山藩で誓紙の調印を終え、二十七日には天領久美浜に入り、代官の職を免じ陣屋を立ち退くよう命じて豊岡藩に向かった。

西園寺総督は二十日間で両丹地方を巡回し、諸大名を新政府に帰順させた。時として流血事件に発展する恐れのある権力の移譲を平和裏に完了し、丹後地方で明治維新を混乱なく迎える準備を整えたのである。

民衆は鎮撫使一行を「ええじやんなか」の乱舞で迎え、新時代の到来に夢を託した。

幕末（慶応四年）のちりめん業界は、機業戸数一千四百二十四戸、機台数一千四百九十三台、生産数量三十八万七千四十五反、生産高七十二万三千八百三十七円であった。（完）

（かわと としかず）

追悼

昨年十一月に会員清水裕氏、瀬尾尚憲氏が亡くなられました。たびたび原稿を寄せられた両氏に対し、謹んで哀悼の意を表します。

弥栄町 退職高校教員

二〇〇一年頭のあいさつ ～会員から～

◆謹賀新年への疑惑◆

高野 源次

二〇〇二年元旦

お互に「聖戦」と呼び
殺しあう
人類史への道は
まどろしきかな

「曾我兄弟」が
まだ生きている?
復仇型外交政治からの
夜明けはいつか

二〇世紀マルクス主義の
大ファウルに学び

歴史的地平に立てと語れる
石堂氏今は亡し

もやみと中国へ

出兵したがったこの国の
歴史から学ばぬまま進む

二十一世紀の闇

原爆2発では足りずと見えて
この国は

再び大戦への道を
進み始めたり

三食共 ミキサーにかけて
食べる身は
妻の健康がわが支えなり

妻の健康がわが支えなり

(老体の故障により、本年で賀
状を欠礼します。永年のご厚
情に感謝いたします。)

◆「燎原」新年号への 近況報告◆

河合 葉子

◆ハツピーで、 平和な暮らしを◆

小田切 明徳

◆ハツピーで、 平和な暮らしを◆

昨夏、北京で第一回アジア性教育学術交流会を三四〇名の参加で成功させました。事務局で関わり、タイ、ベトナム、フィリピン、勿論中国等に友人が増えました。インターネットのお陰です。好戦的ブッシユ政権の仕掛けたアフガンその掘り起こしの会の事務局を担当している私としては、多くの関係者から寄せられた資料を整理して、まとめていくことがさし当たる通しがついていないのが現状です。

またこの秋は京大天皇事件五〇周年ということで、掘り起こしの会の小畠雄さんや古池健吉さんなどが中心となって、十一月十二日に「天皇事件を語る会」を持ちましたが、掘り起こしの会の世話人がみんなで協力しました。予想以上の盛会で、貴重なお話をたくさん聞くことができました（編注、

この会の様子は次号報告の予定です）。この時代のさまざまな資料を歴史的な資料として残していくことに責任を感じている昨今です。

編集後記

アフガン戦争と自衛艦派遣の騒動の最中に、昨年末に雅子妃の女児出生が伝えられました。不況のさ中に数百億円の経済効果をあげた人たちは、意外に冷静でその思惑ははずれたようでした。大衆の関心はむしろ阪神の野村監督の退任と星野新監督の出現の方へ向けられました。興味ある現象です。

二〇〇二年の世界と日本と京都、その展望ははつきりとした焦点を結びません。しかし時代が変動しつつあることだけはたしかなようです。目を開いて歴史の経験に学ぼうではありませんか。

さ中には、大衆の関心はむしろ阪神の野村監督の退任と星野新監督の出現の方へ向けられました。興味ある現象です。

二〇〇二年の世界と日本と京都、その展望ははつきりとした焦点を結びません。しかし時代が変動しつつあることだけはたしかなようです。目を開いて歴史の経験に学ぼうではありませんか。



TEL FAX ○七五一一三八二三

三三一三〇二 井手 幸喜

〒六〇六一八一〇七
「事務局」

京都市左京区高野東開町
一一一三 第三住宅